

ははただけ！
JTサンダーズ広島

竹田 英司

ワールドカップ（W杯）で活躍した小野寺太志選手への熱狂ぶりが衰えを見せない。うれしい悲鳴ではあるが、ある会場で小野寺選手が「竹田さん、僕を守って」と小声で頼んできた時はさすがに驚いた。

7、8日の松本大会では、選手

小野寺選手 衰えぬ人気



出口からチームバスに向かう途中、サインや写真に対応していた小野寺選手に「あと5分で出発時間」と耳打ちした。すると、出待ちをしていた女性たちから「もう少しだけ、小野寺さんに時間をくださいー」と悲痛な叫びが聞こえた。私もファンの気持ちがよく分かるし、マネジャー業との板挟みで毎回つらい瞬間だ。

選手にサインを依頼するのも心苦しい。宿舎では選手にリラックスして試合に集中してもらいたいと思うが、夕食時に小野寺選手にサインを依頼した。「残業代は出ますか」と言われたので「私の満面の笑みで払う」と即答。「今、食事中なんで気持ち悪いこと言わないで」と苦笑された。

ブロックを決めて喜びを爆発させる小野寺選手（中央）

隣にいた合田心平選手が「小野寺のサインで小遣い稼ぎですか」と冷やかしてきた。「合田、私がそんな人間に見えるか」と聞くと、「はい」と澄ました顔で答えたのが箕本翔昂選手だ。皆も察してくれたのか、楽しい雰囲気になってくれて食事も堪能できた。このメンバーこそ私の活力源である。

（JT広島マネジャー）